

日仏詩人 関口涼子

お茶の水女子大
学ジェンダー研
究センター主催

講演会 & 朗読会 「書く／読む／女性」

RYOKO SEKIGUCHI

FEMME/ÉCRITURE/LECTURE

講演 「書く女性。読む女性。」

「書く女性。」多民族社会の中で「フランス語作家」として書くこと。

日本語とフランス語の二言語で書くことで、創造される翻訳性。

「読む女性。」読む私たちは、何を見出せるのか。「読むこと」の可能性。

朗読 「二つの市場、ふたたび」(書肆山田)

Deux marchés, de nouveau (P.O.L. éditeur)

2009年7月2日(木) 14:00~16:00

お茶の水女子大学 本館 135号室

カンファレンスルーム

登録必要
参加無料

※ 参加ご希望の方は下記までメールにてお申し込み下さい。

Ryoko Sekiguchi 関口涼子

1970年生まれ。パリ在住。詩人。翻訳家。1996年東京大学総合文化研究科博士課程満期退学。17歳で第26回現代詩手帖賞受賞。1993年に書肆山田より『カシオペ・ペカ』を出版。その他の代表作に『二つの市場、ふたたび』(2001年)など。1990年代後半にパリに拠点を移し、仏語による執筆を開始。『CASSIOPEE PECA』cipM (2001年)『Deux marchés, de nouveau』P.O.L. éditeur (2005年)など多数出版。

Info. お茶の水女子大学ジェンダー研究センター(山出)

03-5978-5846 / yamade.yuko@ocha.ac.jp